

研究課題名	併存疾患を有する高齢者における人工関節置換術周術期リハビリテーション治療内容と術前身体機能との関係性調査
研究期間	2025年1月7日 ～ 2029年3月31日
研究の対象	2023年7月～2028年12月の間に広島大学病院リハビリテーション科および診療支援部リハビリテーション部門での周術期リハビリテーション治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：人工関節の手術の後のリハビリは、入院中や外来でも有効であり、特に人工膝関節後の早期に行う高強度のリハビリは、低強度のものとは比べて筋力がより高くなることがわかっています。日本では、高齢者の人工関節置換手術の件数が増加しており、併せて複数の病気を持つ高齢者も増えている状況ですが、これらの高齢者に対して手術後にどのようなリハビリが最も効果的か、またその強度はどの程度が適切かについては、はっきりとした根拠が不足しています。</p> <p>そこで本研究では、複数の病気を持つ高齢者に対する人工関節置換術後のリハビリ内容を振り返って調査し、手術後の体の機能の変化や、入院日数、日常生活での活動レベルとの関係を明らかにすることを目的としています。この研究は、高齢者の人工関節置換術後におけるリハビリプログラムを作成する上での参考になると考えています。研究の方法は、研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、リハビリテーションの内容と身体機能のデータを解析します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>使用する情報は以下の通りです。</p> <p>年齢、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、画像所見（レントゲン画像、CT画像）、血液検査（赤血球数、ヘモグロビン、アルブミン、総コレステロール値）、手術情報（術式、手術アプローチ方法、手術時間、麻酔使用の有無と種類、出血量）、術後在院日数、転帰、予後、術後リハビリテーション実施内容（術後歩行開始日、有酸素運動の実施有無と負荷量・時間、筋力増強訓練の実施有無と負荷量・時間、歩行訓練の実施有無と負荷量・時間）</p> <p>管理責任者：広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 浅枝諒</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年1月（実施許可日以降）
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。

外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 理学療法士 浅枝諒
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 担当者：浅枝 諒（理学療法士） 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5566</p>